

「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024」の開催結果について

1 要旨・目的

11月16日～17日、公益社団法人広島県パラスポーツ協会（以下「協会」という。）は誰もが参画し楽しめる「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024」を開催した。

県としては、協会を中心に、市町、競技団体、企業等、多様な主体と連携を図りながら、誰もが参画できるパラスポーツに触れる場や機会を広く地域に展開することを通じて、多様性が尊重される共生社会の実現を目指していく。

2 現状・背景

県パラスポーツ推進事業は「普及啓発・認知向上」、「場の充実・機会の確保」、「競技力向上」の3つの施策の柱に沿って取り組んでいる。フェスタは主には「普及啓発・認知向上」のために昨年度から協会を中心に取り組んでおり、フェスタ開催によるパラスポーツへの機運醸成の高まりを契機とし、更に県民に広く浸透するよう取組を進めていく。

3 概要・結果

5市町において、11競技の体験会や、パラアスリートによるトークショー、企業ブース出展等を行った。約4,500人の参加があり、温かな笑顔あふれる2日間となった。

(1) 実施主体

ア 公益社団法人広島県パラスポーツ協会

・インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024実行委員会

（主な構成）

顧問	/	広島県知事、開催市町長
委員長	/	公益財団法人福山市スポーツ協会会長
実行委員	/	県スポーツ推進担当部長・開催市町担当部局長、 開催市町スポーツ協会会長
各部会	/	県スポーツ推進課長・開催市町担当課長、競技団体、企業関係者、 大学、理学療法士会、医療関係者等

イ 中国新聞社

(2) 日程

令和6年11月16日（土）～17日（日）

(3) 会 場

メイン会場：福山市（エフピコアリーナふくやまほか）

サブ会場：尾道市、府中市、庄原市、神石高原町

(4) 実施内容

パラスポーツの体験会（11競技）をはじめ、パラアスリートによるトークショーや、企業のブース出展など、参加者が楽しく過ごすことができるフェスタを展開した。

※ 当日の様子は別紙のとおり。

(5) 参加者数

- ・ 体験会参加者数 ／約 780人（メイン約630名、サブ約150人）
 - ・ 競技団体・スタッフ等／約 400人
 - ・ ボランティア ／約 160人
 - ・ 観客 ／約3,200人
- 計 約4,500人

4 予算（単県）

10,000千円

※ 企業等からの協賛も含め、総額約18,000千円の事業

5 来年度の開催について

廿日市市を中心に開催される予定

「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024」について

1 開会式の様子【11月16日（土）】（メイン会場 福山市内）

(1) 開会宣言やトップアスリートのあいさつ

ハンザヨットの大和なゆた選手による開会宣言では、「私はハンザヨットから素敵な贈り物をいただきました。それは生きる喜びです。」という言葉が会場に力強く響きわたった。また、パリパラリンピック陸上競技走り幅跳び7位入賞の中西麻耶選手を始めとしたトップ・パラアスリートからは、特別支援学校の生徒など開会式来場者に温かなエールが贈られた。



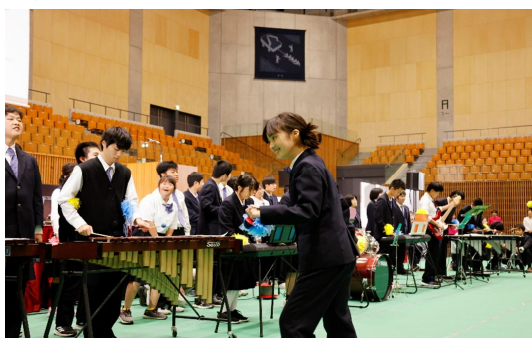
大和なゆた選手の開会宣言



トップ・パラアスリートのあいさつ

(2) 県立特別支援学校の生徒による演奏や演技

地元福山市内の県立沼隈特別支援学校高等部1～3年の生徒がツバメの楽器演奏を、県立福山北特別支援学校高等部3年の生徒が力強いよさこいソーランの演技を行い、日頃の練習の成果を披露した。



【県立沼隈特別支援学校高等部1～3年】
演奏 ツバメ



【県立福山北特別支援学校高等部3年】
演技 よさこいソーラン

2 ボッチャエキシビジョンマッチの様子【11月16日（土）】（メイン会場 福山市内）



ボッチャ元日本代表古満渉選手の解説のもと、トップ・パラアスリートや特別支援学校の生徒等がボッチャ対決を行い、誰もが共に楽しめるパラスポーツの魅力を発信した。

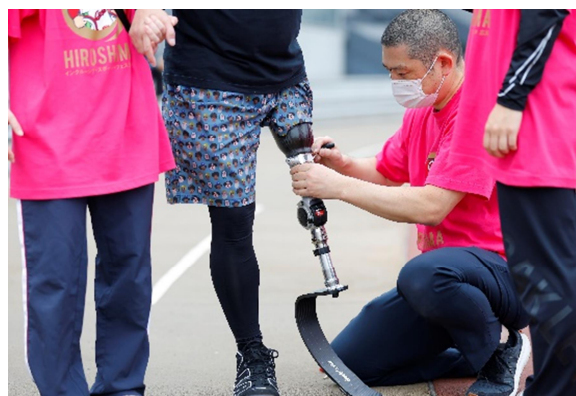
- 3 体験会等【11月16日（土）～17（日）】（メイン会場、サブ会場）※府中市のみ11月24日（日）
5市町で11競技の体験会等が開催された。主な内容は次のとおり。

(1) ギソクの図書館

国家資格の義足装具士が、走る楽しさ、喜びを感じてもらおうと、義足ユーザー個々の状態に合うように競技用義足をセッティングし、中西選手により、走り方の技術指導のほか試技も披露された。



中西選手による指導の様子



競技用義足のセッティングの様子

(2) 競技団体と企業の協力による体験会運営とトップ・パラアスリートの指導等



古澤選手による指導の様子

体験会は、各競技団体や企業等が運営し、トップ・パラアスリートの白砂匠庸選手がやり投げ体験会、古澤拓也選手、根木慎志氏が車いすバスケットボール体験会、古満渉選手がボッチャ体験会で試技のほか指導も行った。

(3) 企業や団体等のブース出展について



エントランスホールや屋外デッキでは、10以上もの企業・団体等によるブース出展の協力があった。

(株)ユニコーンによる企業ブース「eBOCCIA」では、ボッチャで用いる補助装置「ランプ」の操作を視線でコントロールできるように開発された製品の体験など、デジタル技術を活用したパラスポーツの普及啓発を図った。

【参考】体験会の様子



ボッチャ



ハンザヨット



パラクライミング



モルック



車椅子ソフトボール



フロアホッケー



アンプティサッカー



やり投げ（ジャベリックスロー）

インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024 開会宣言

皆さん、こんにちは！

私は、生まれつき常に介護が必要な重度の障害があります。

そんな私が、パラスポーツのハンザヨットに出会いました。

普通の椅子に座ることができない私をハンザは優しく包むように、
海の楽しさを教えてくれました。

年齢や性別、身体の手帳の有る無しに関わらず、
パラスポーツは仲間への思いやりや、仲間と協力する事の大切さを通じて、
スポーツの楽しさを教えてくれます。

私はハンザヨットから素敵な贈り物を頂きました。

それは生きる喜びそして、お互いを認め合うことです。

そんなパラスポーツに触れる機会を与えてくださった全ての人に
心より感謝いたします。

2日間の体験会の中で皆さんが、人生の贈り物を受けとれますことを願って
ここに「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024」の開会を宣言
いたします。

令和6年11月16日

大和なゆた